

平成28年1月豪雪の対応に関する検証（速報）

1 気象

- ◆1月24日21時に輪島上空5千メートルに氷点下4.4度の寒気を観測
- ◆長岡国道事務所で1日当たり73cmの降雪を記録（最深積雪98cm）
（長岡観測所で観測史上4番目となる1日当たり56cmの降雪を記録）
- ◆中之島支所においても、1日当たり80cmの降雪（最深積雪100cm）を記録するなど、例年、比較的降雪の少ない中之島などを中心とする中越地域平野部が集中豪雪に見舞われた。
（1日あたり降雪量：寺泊浄水場78cm、川口支所55cm、小国支所37cm）

2 交通の状況

《高速道路》

- 北陸自動車道 三条燕IC～柏崎IC 24日午後通行止め（解除26日4:50）
- 関越自動車道 長岡市JCT～小千谷IC 24日午後通行止め（解除26日2:50）

《直轄国道》

- 国道8号 見附大橋や新組跨線橋付近を中心に立ち往生する車が多数発生。25日早朝から大渋滞。
25日20:30に川崎IC～坂井北交差点を災害対策基本法に基づく道路区間指定（27日9:00廃止）
26日の夜間に集中除雪を行い、27日早朝から、ようやく通常走行
- 国道116号 25日10:00に柏崎市長崎交差点～出雲崎町を災害対策基本法に基づく道路区間指定。18:00に寺泊まで道路区間指定を延伸。（26日19:00廃止）

《県管理道路》

県道長岡中之島見附線 25～26日大渋滞。特に25日午前は宮内跨線橋で立ち往生する車両が発生し、まったく動かず。

越路橋 25日午前、大型立ち往生により、一時通行止め

大手大橋 25日は、片側1車線しか通れず、終日大渋滞。

そのほか、国道403号（与板地域）や県道長岡和島線（小島谷等）も、一時通行止め

《市道》

川西の広域農道や東幹線55号線などで、一部通行止めがあったが、概ね全線交通確保

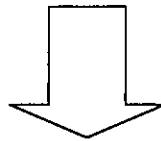
国道や県道からの交通流入により、市道でも渋滞が発生。

3 長岡市の対応

- ◆暴風雪警報の発令（23日21:06）に伴い除雪本部体制を強化。
- ◆24日早朝より、日中も含めて連続して除雪。
- ◆25日早朝も、通常より約2時間早く、24日午後11時より除雪を開始
- ◆25日（月曜日）午前9時に長岡市雪害対策本部を設置
- ◆25日早朝から、市道を中心に交通状況を把握するためのパトロールを実施。（6班体制）
- ◆25日午前から、FMながおか、長岡ケーブルテレビ、ホームページのフェイスブックを活用し、長岡市が持っている高速道路や国県道も含めて道路交通情報を随時提供

4 長岡市の所見

- ◆高速道路の交通止めと国道116号の道路区間指定により、中越地域から新潟地域を往来する交通が国道8号に集中し、さらに近年にない豪雪と立ち往生する車両により除雪が難航し、国道8号が大渋滞となった。
- ◆さらに、国道8号の大渋滞により、県道長岡中之島見附線などの県道や市道にも交通が迂回し、全体な渋滞につながった。
- ◆首都圏からの大型トラック（定期便）が、一般道の雪道運転に不慣れなことや、タイヤチェーンを付けていない車両が多く立ち往生したことも渋滞要因の1つ
- ◆また、情報が市民に十分伝わらず、問い合わせにも的確に答えられなかった。



●人の体に例えれば、高速道路や国道の大動脈が詰まったことにより、県道、市道のような毛細血管まで影響が生じた。このような、集中豪雪時には大動脈の確保が何より大切。

●市民やドライバーへ、迅速でわかりやすい情報提供（随時）が大切。

※交通規制、渋滞情報（区間や程度）、今後の見通し等

5 要望

- ◆豪雪時には、NEXCO、国、県、市、警察の関係者が、通行止めや迂回路などの情報を共有し、連携しながら、大動脈の確保をお願いしたい。
- ◆長岡市では、迅速かつ的確に道路情報を伝えるため、「豪雪時緊急道路情報提供システム」を構築することとしたので、関係機関からの情報が遅滞なく提供できる仕組みを、検討していただきたい。